

## 公益財団法人佐藤奨学会 平成 28 年度奨学生 募集要項

### 1. 応募資格

高等学校、高等専門学校、大学または大学院に在学し、学業、人物とも優秀で、かつ健康であり、学資の支弁が困難と認められるもの。

### 2. 奨学金額

高等学校奨学生	月額	11,500円
高等専門学校奨学生	月額	16,000円
大学奨学生	月額	25,000円
大学院奨学生	月額	30,500円

### 3. 採用予定数

大学生	20名
大学院生	4名
高等学校生	1名
高等専門学校生	1名

### 4. 支給期間

正規の最短修業年限とする。

2年次以降に支給を受ける場合は残りの修業期間。

### 5. 奨学金の支給方法

原則として、毎月一定日に本人宛に支給するが、7、8月、2、3月分については2か月分まとめて支給する。また、学校から特別に指示がある場合は学校経由で支給する。

### 6. 応募方法

必要書類を取り揃えた上、学校担当者経由で提出のこと。

(必要書類)

- (1) 願書 (学校から受取ること)
- (2) 在学学校長の推薦書 (財団指定フォーマット、学校から受取ること)
- (3) 成績証明書
- (4) 健康診断書 (発行が間に合わない場合は後日提出のこと)
- (5) 家計維持者の収入証明書コピー (両親可)
- (6) 課題 (A4用紙1枚、自由記述)

課題内容:「10年後の自分」について

10年度、どのように社会で貢献できる人間になりたいか、A4用紙1枚にご記入ください。絵や写真の貼付可能です。

### 7. 書類提出期限 (奨学会事務局必着)

平成 28 年 4 月 28 日 (木)

8. 結果の通知について

可否にかかわらず、本人、学校宛に結果を通知する。

尚、学内選考を実施した際は、その結果は学校側から応募者へ可否を通知すること。

9. 奨学生の義務について

奨学生は、以下に定める義務を履行する必要があります。

- (1) 奨学生は、奨学金給与規定を厳守すること
- (2) 次のいずれかに該当する場合は、直ちに事務局に連絡すること
  1. 留学をする場合
  2. 休学、復学、転学又は退学したとき
  3. 停学、その他の処分を受けたとき
  4. 氏名、住所、メールアドレス、その他重要な事項に変更があった場合
  5. 留年又は卒業延期の恐れが生じたとき
- (3) 毎月（ただし7・8月は7月、2・3月は2月）奨学金の交付をうけた奨学生は、当月末までに奨学金領収書を提出すること
- (4) 毎年度末に、下記の書類を事務局に提出すること
  1. 活動報告書（指定のフォーマット）
  2. 成績証明書
  3. 収入証明書
  4. 進路報告書（卒業生のみ）

10. 奨学金の休止について

休学、あるいは長期に欠席する場合は奨学金の交付を休止する。このような場合は速やかに本会事務局に連絡すること。

11. その他

- (1) 募集は各学校宛に行うため、学校経由で応募すること。直接応募は認められていない。
- (2) 当財団の奨学金は、返還の必要はない。
- (3) 他の奨学金との併願・併用は可能。
- (4) 提出された応募書類は返却しない。

以上



## 願書記入の手引き

1. 氏名・生年月日は、戸籍謄本に記載されているものを記入する。
2. 現住所へは、自宅、自宅外のいずれかを記入すること。  
また、連絡先は電話番号など必ず記入すること。
3. 上記以外の連絡先は、必要がなければ記入する必要はない。
4. 履歴は中学校以上を記入する。
5. 保証人に父もしくは母を記入しても構わない。
6. 家族欄には、二親等（父母・兄弟姉妹）まで記入する。
7. 家計維持者に○印を付する。家計維持者が父母等二人以上の場合は全てに○印を付すること。
8. 他の奨学金を受給予定或いは既に受給している場合は、その金額を記入する。
9. 健康診断書が期日までに用意できない場合は、発行後の提出でも構わない。家計維持者の収入証明書は、源泉徴収票のコピー等を提出のこと。
10. 資格・特記事項等の欄は、資格や受賞歴等を記入すること。



# 家 庭 調 査 書

申 請 者	所 属	_____学群 _____学類 _____年次														
	学籍番号	_____						性別	男・女	現住所	〒 _____ TEL ( _____ )					
	フリガナ	_____														
	氏 名	_____						家族住所	〒 _____ TEL ( _____ )							
家 族 及 び 所 得	就学者を除く家族	続柄	氏 名	年齢	職 業	在職期間	勤 務 先 名 称	給与所得の収入金額 (税込)	給与所得以外の所得金額							
		父				年		万円	万円							
	母					年		万円	万円							
	父または母 死亡・離別の場合 時期 ( 年 月 ) 理由 ( )															
	主たる家計支持者無職等の場合 時期 ( 年 月 ) 理由 ( )															
						年		万円	万円							
						年		万円	万円							
						年		万円	万円							
						年		万円	万円							
	別居者に 家計支持者に○×印	就学者	続柄	氏 名	年齢	学 校 名	設置者別	学校種別	通学別	控 除 額						
本人					筑波大学	国立		※自 宅 自 宅外	万円							
					※国公立 私 立	※小・中・高・高専・大学 専修 (高等・専門)	※自 宅 自 宅外	万円								
					※国公立 私 立	※小・中・高・高専・大学 専修 (高等・専門)	※自 宅 自 宅外	万円								
					※国公立 私 立	※小・中・高・高専・大学 専修 (高等・専門)	※自 宅 自 宅外	万円								
家 庭 の 特 殊 事 情	特別控除項目	控除有無														
	母子・父子世帯	※有・無								万円						
	障害者がいる世帯	※有・無	続柄 ( ) 氏名 ( ) 手帳番号 ( )							万円						
	その他															
本 人 の 状 況	家庭からの給付	月額 ( 千円)							認 定							
	アルバイト	月額 ( 千円) 内容 ( )							総収入金額 ① 万円							
	奨学金	受給中	月額 ( 千円) 団体名 ( )							必要経費 ② 万円						
		申請中	月額 ( 千円) 団体名 ( )							特別控除額 ③ 万円						
	その他の収入	月額 ( 千円) 内容 ( )							総所得金額 ④=①-②-③ 万円							
学 業 成 績	評 価	高等学校	5	4	3	2	1	平 均 値	収入基準額	世帯人数 人						
		大学 (院)	A	-	B	C	-			⑤ 万円						
	修得科目数・単位数								家計充足率 ⑥=④÷⑤×100							

- (注) 1. 太線の枠内を記入し、※印は○で囲むこと。
2. 「給与所得の収入金額」欄は、申請の前年1年間の収入金額を記入し、所得証明書、源泉徴収票(写)を添付すること。  
(父と母が給与所得者の場合は父と母両方添付すること。年金受給者の場合は年金振込通知書(写)。失業者は雇用保険受給資格者証(写)。
3. 「給与所得以外の所得金額」欄は、申請の前年1年間の収入金額から必要経費を控除した金額を記入し、確定申告書(写)等を添付すること。  
(父と母が確定申告をしている場合は父と母両方添付すること。)
4. 「家庭の特殊事情」欄について、障害者のいる世帯については障害者手帳(写)、その他については証明するものを添付すること。
5. 「学業成績」欄については、1年次生(編入学生を含む。)にあっては出身学校の成績を記入し、成績証明書を添付すること。  
2年次以上の者にあっては、前年度までの成績を記入すること。